

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日市立春日西小学校(福岡県)【指定校】

【取組内容】 授業展開におけるICTの活用

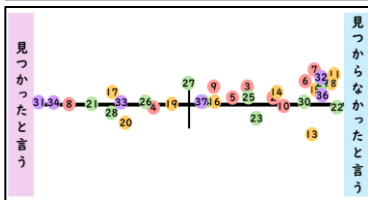
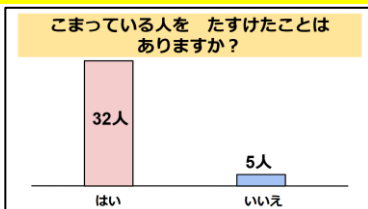
【実践例】2年 道徳科「くりのみ」

デジタル教科書の活用



資料「くりのみ」を教科書のアニメーションで提示した。アニメーションを使用することで、人物の行動や言葉が視聴覚的に分かり、興味をもちながら、内容を理解することができた。また、発問をする場面で動画を停止して学習することができた。

Googleスライドの活用



【①アンケート結果の提示】

アンケート結果をグラフに表すことで、視覚的に見やすくした。また、画用紙に記入する手間が省けた。

【②ポジショニング】

共同編集をすることで、友達の考えを見ながら操作することができた。また、前に出て操作する手間が省け、時間を短縮できた。

【③写真提示】

音楽をバックに、日常の子ども達の姿をスライドショーで提示することで自分にも親切な心があることに気づくことができた。

学習支援ソフトの活用



しなびたくりのみをうさぎからもらったきつねの気持ちを考える際、役割演技を位置づけた。その際、学習支援ソフトで音声入力を行い、全体で交流した。従来の方法では、限られた人数しか行うことができなかったが、音声入力を行うことで、全員が参加できるうえ、友達のものも自分で操作して聞くことができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日市立春日西小学校（福岡県）【指定校】

【取組内容】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウドの活用

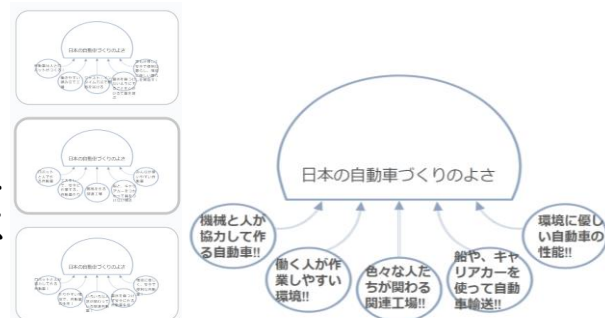
【実践例】 5年 社会科 「自動車の生産にはげむ人々」

（１）Googleスライドを活用したキャッチコピーづくり

○その日の学びのふり返りをキャッチコピーとしてまとめる活動を通して、毎時間の学習の積み上げを実感し、その授業の大事なポイントを一目でふり返ることができるようにした。クラウド環境を活用し、他者参照（必要なときに必要な相手との協働）を積極的に行った。

→自分の考えがまとまらない児童が自分の考えに近い児童の考えを探し、参考にして自分の考えをまとめることができるようになった。

Googleスライドを共同編集でクラス全員が編集できるようにして活用した。

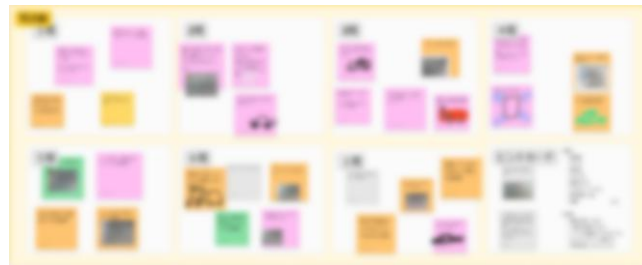


（２）オンラインホワイトボードを活用した協働的な学び

○オンラインホワイトボードの機能を活用して、これから求められる自動車について自分の考えをまとめた。絵や写真など自分に最適な方法を選び、他者参照を行った。また、全体で考えを観点と色の説明・挿入をし、大事なキーワードごとに整理した。

→クラウド環境を活用することで、自分の座席から移動せず、キーワードごとにまとめ、焦点を当てて考えることができた。

ヒントカードや教師の例をいつでも誰でも閲覧できるように作成場所に貼り付けておいた。



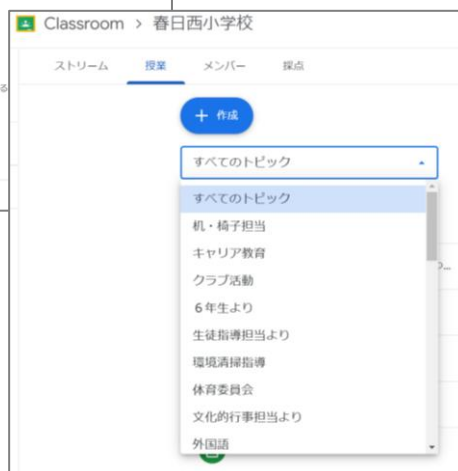
リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日市立春日西小学校（福岡）【指定校】

【取組内容】 Google classroomを活用した職員会議の効率化



全教職員が参加する学校全体の Google classroomを作成し、連絡事項は全て記入をするようにした。各端末から係からの起案や連絡事項を記入できるため、ペーパーレス化になるとともに、細かい点まで共通理解を図ることができるようになった。



分掌ごとのトピックを作成し、選択してから投稿をしてもらうことで、後から連絡を見返したいときにも探す手間が省け、効率化につながった。

Google classroomの他にも Google formを活用することで、アンケート類の回答や集計も効率的に行うことができるようになった。